



## 平成25年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月9日

上場会社名 旭硝子株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5201 URL <http://www.agc.com>

代表者 (役職名) 代表取締役・社長執行役員 (氏名) 石村 和彦

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 上田 敏裕

TEL 03-3218-5603

四半期報告書提出予定日 平成25年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	306,372	7.4	15,768	△34.8	15,611	△33.9	7,630	△57.0
24年12月期第1四半期	285,376	△7.5	24,182	△55.3	23,620	△59.3	17,749	△53.8

(注) 包括利益 25年12月期第1四半期 74,474百万円 (△16.5%) 24年12月期第1四半期 89,223百万円 (47.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	6.60	6.33
24年12月期第1四半期	15.36	14.22

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	1,994,572	1,055,003	50.0
24年12月期	1,899,373	996,949	49.6

(参考) 自己資本 25年12月期第1四半期 998,152百万円 24年12月期 941,842百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	13.00	—	13.00	26.00
25年12月期	—	—	—	—	—
25年12月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	600,000	2.9	40,000	△16.6	30,000	△37.0	20,000	△35.6	17.31
通期	1,300,000	9.2	100,000	7.6	90,000	3.9	50,000	14.2	43.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料]4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期1Q	1,186,705,905 株	24年12月期	1,186,705,905 株
② 期末自己株式数	25年12月期1Q	31,113,635 株	24年12月期	31,123,685 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期1Q	1,155,591,149 株	24年12月期1Q	1,155,936,143 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、補足資料を作成しており、当社ホームページに掲載しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

#### ①2013年12月期第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間(2013年1月1日から2013年3月31日まで)における当社及び関係会社(以下、当社グループという)を取り巻く世界経済を外観すると、欧州の財政・金融問題の影響や新興国の輸出及び内需拡大の鈍化が見られるものの、緩やかな景気回復が続きました。

欧州においては、一部の国の財政危機の影響により高い失業率と個人消費の落ち込みが続き、景気は引き続き減速しました。アジアにおいては、輸出と個人消費が牽引し、景気は概ね堅調に推移しました。日本においては、輸出の持ち直しと底堅い個人消費により、景気は緩やかに回復しました。アメリカにおいては、住宅着工戸数は低い水準ながらも改善が続き、個人消費も安定的に推移したことから景気は緩やかに回復しました。

このような環境の下、当社グループでは電子関連製品の出荷は増加したものの、製品価格の下落、原燃材料価格の上昇により、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前第1四半期連結累計期間比210億円(7.4%)増の3,064億円、営業利益は同84億円(34.8%)減の158億円、経常利益は同80億円(33.9%)減の156億円、四半期純利益は同101億円(57.0%)減の76億円となりました。

#### ②2013年12月期第1四半期連結累計期間の報告セグメント別の概況

##### ○ガラス

建築用ガラスの出荷は、欧州では西欧を中心に引き続き低迷しましたが、日本・アジアにおいては堅調に推移し、北米では緩やかな回復基調にあります。ソーラー用ガラスの出荷は、厳しい競争環境が継続し、前年同期と比べ減少しました。これらの結果、建築用及びソーラー用ガラスを合わせた板ガラスは、厳しい事業環境が続いたものの、円安などの影響で前年同期と比べ増収となりました。

自動車用ガラスは、日本、欧州では前年同期と比べ自動車生産台数が減少し、当社の出荷も減少しました。一方、アジア、北米においては出荷が堅調に推移し、また円安の影響もあり前年同期と比べ増収となりました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間のガラスの売上高は前第1四半期連結累計期間比141億円(10.1%)増の1,534億円、営業損益は同70億円悪化し62億円の損失となりました。

##### ○電子

表示デバイス用ガラス基板やディスプレイ用特殊ガラスの出荷は前年同期と比べ増加しました。電子部材は、半導体関連製品やオプトエレクトロニクス用部材などの出荷が前年同期と比べ減少しました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間の電子の売上高は前第1四半期連結累計期間比69億円(8.8%)増の849億円、営業利益は同14億円(7.7%)増の193億円となりました。

##### ○化学品

クロールアルカリ・ウレタンは、アジアでの出荷が堅調に推移したことから、前年同期と比べて増収となりました。フッ素・スペシャリティは、医農薬中間体・原体の出荷は堅調に推移したものの、欧州景気低迷等の影響を受け一部製品の出荷が低迷したことから、前年同期と比べ減収となりました。

以上の結果から、当第1四半期連結累計期間の化学品の売上高は前第1四半期連結累計期間比39億円(6.1%)増の667億円、営業利益は同19億円(35.3%)減の34億円となりました。

なお、各報告セグメントに属する主要な製品の種類は以下のとおりです。

報告セグメント	主要製品
ガラス	フロート板ガラス、型板ガラス、網入り磨板ガラス、Low-E（低放射）ガラス、 建築用加工ガラス（断熱・遮熱複層ガラス、安全ガラス、防・耐火ガラス、防犯ガラス等）、 自動車用強化ガラス、自動車用合わせガラス、ソーラー用ガラス、産業用加工ガラス、 装飾ガラス等
電子	表示デバイス用ガラス基板、ディスプレイ用特殊ガラス、ディスプレイ用周辺部材、 光学薄膜製品、オプトエレクトロニクス用部材、合成石英製品、ガラスフリット・ペースト、 半導体製造装置用部材、照明用製品等
化学品	塩化ビニル原料、苛性ソーダ、ウレタン原料、ガス、溶剤、フッ素樹脂、撥水撥油剤、 医薬農薬中間体・原体、ヨウ素製品、電池材料等

上記製品の他、当社は、セラミックス製品、物流・金融サービス等も扱っています。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

### ○総資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比952億円増の19,946億円となりました。これは主に、円安により為替換算後の有形固定資産等が増加したことに加え、上場株式の株価上昇に伴い投資有価証券が増加したことによるものです。

### ○負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比371億円増の9,396億円となりました。これは主に、有利子負債が円安の影響も含め増加したことによるものです。

### ○純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度比581億円増の10,550億円となりました。これは主に、円安により為替換算調整勘定が増加したことに加え、上場株式の株価上昇に伴いその他有価証券評価差額金が増加したことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

(億円：千万単位四捨五入)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期(2013年12月期)	13,000	1,000	900	500
前期(2012年12月期)	11,900	929	866	438
増減率(%)	9.2	7.6	3.9	14.2

2013年の世界経済は、全体として緩やかな成長を持続することが見込まれます。

このような環境のもと、建築用ガラスの出荷は北米では緩やかに回復し、日本・アジアにおいては堅調に推移する見込みです。欧州では景気低迷を反映して軟調に推移する懸念がありますが、需給が改善し、第2四半期以降価格水準が回復することを見込んでいます。自動車用ガラスは、新興市場を中心に堅調な自動車需要が見込まれることから、出荷は前期と比べ増加する見込みです。ソーラー用ガラスは、厳しい競争環境が継続し、出荷が低調となる懸念があります。

表示デバイス用ガラス基板の出荷は、成長率は鈍化するものの、通期では堅調に推移することが見込まれます。ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は採用の拡大に伴い伸長する見込みです。電子部材のうち半導体関連製品については緩やかな回復が見込まれます。オプトエレクトロニクス用部材は短期的な需要変動の可能性はあるものの、通期の出荷は堅調に推移する見込みです。

化学品関連製品の出荷については、アジアのクロール・アルカリ製品が引き続き伸長し、またフッ素関連製品が回復する見込みです。

なお、エネルギー価格の上昇が当社グループ全体の損益に一定の影響を及ぼす可能性があります。

このような状況を踏まえ、当社グループの2013年通期の売上高は前期比1,100億円（9.2%）増の13,000億円、営業利益は前期比71億円（7.6%）増の1,000億円、経常利益は前期比34億円（3.9%）増の900億円、当期純利益は前期比62億円（14.2%）増の500億円を予想しています。

なお、2013年度通期の期中平均為替レートは、対米ドル円為替レート90円、対ユーロ円為替レートを120円と想定しています。

《見通しに関する留意事項》

前述の業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみで全面的に依存して投資判断を下すことはお控え下さいますようお願いいたします。実際の業績は、当社グループの事業領域をとりまく経済環境、市場の動向、為替レートなど様々な要素により、見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当第1四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,461	119,472
受取手形及び売掛金	249,572	253,463
有価証券	20,300	13,300
商品及び製品	92,919	96,293
仕掛品	41,586	46,772
原材料及び貯蔵品	73,841	79,980
その他	77,740	71,969
貸倒引当金	△5,173	△5,322
流動資産合計	651,248	675,929
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	574,483	592,365
減価償却累計額	△311,609	△321,557
建物及び構築物（純額）	262,873	270,807
機械装置及び運搬具	1,684,007	1,750,518
減価償却累計額	△1,173,317	△1,226,838
機械装置及び運搬具（純額）	510,689	523,679
その他	120,005	125,087
減価償却累計額	△95,471	△99,777
その他（純額）	24,534	25,310
土地	78,231	81,261
建設仮勘定	81,332	101,966
有形固定資産合計	957,661	1,003,024
無形固定資産		
のれん	26,922	26,782
その他	24,986	25,771
無形固定資産合計	51,909	52,554
投資その他の資産		
投資有価証券	195,897	227,313
その他	46,013	39,194
貸倒引当金	△3,357	△3,442
投資その他の資産合計	238,553	263,064
固定資産合計	1,248,124	1,318,643
資産合計	1,899,373	1,994,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2013年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,893	122,150
短期借入金	69,141	83,272
コマーシャル・ペーパー	11,862	12,175
1年内償還予定の社債	20,000	62,414
未払法人税等	15,325	17,172
引当金	13,419	19,834
その他	124,173	116,427
流動負債合計	372,816	433,448
固定負債		
社債	92,294	50,000
新株予約権付社債	50,000	50,000
長期借入金	289,683	299,552
退職給付引当金	59,681	64,668
その他の引当金	9,076	9,616
その他	28,870	32,283
固定負債合計	529,607	506,120
負債合計	902,423	939,568
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,873	90,873
資本剰余金	96,961	96,966
利益剰余金	826,265	818,873
自己株式	△30,076	△30,064
株主資本合計	984,023	976,649
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,615	68,127
繰延ヘッジ損益	174	231
為替換算調整勘定	△90,971	△46,855
その他の包括利益累計額合計	△42,181	21,503
新株予約権	1,862	1,949
少数株主持分	53,243	54,902
純資産合計	996,949	1,055,003
負債純資産合計	1,899,373	1,994,572



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年3月31日)
売上高	285,376	306,372
売上原価	204,380	230,975
売上総利益	80,996	75,396
販売費及び一般管理費	56,814	59,628
営業利益	24,182	15,768
営業外収益		
受取利息	292	456
受取配当金	159	274
為替差益	—	875
持分法による投資利益	674	100
その他	536	445
営業外収益合計	1,663	2,152
営業外費用		
支払利息	1,498	1,584
為替差損	38	—
その他	688	725
営業外費用合計	2,225	2,309
経常利益	23,620	15,611
特別利益		
固定資産売却益	318	138
投資有価証券売却益	—	459
受取保険金	9,641	—
その他	483	138
特別利益合計	10,444	736
特別損失		
固定資産除却損	1,926	392
減損損失	1,213	—
事業構造改善費用	4,102	2,075
その他	2,185	411
特別損失合計	9,428	2,878
税金等調整前四半期純利益	24,636	13,468
法人税等	5,574	5,589
少数株主損益調整前四半期純利益	19,061	7,879
少数株主利益	1,311	248
四半期純利益	17,749	7,630

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2013年1月1日 至 2013年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,061	7,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,491	19,520
繰延ヘッジ損益	738	56
為替換算調整勘定	49,455	45,686
持分法適用会社に対する持分相当額	476	1,332
その他の包括利益合計	70,162	66,595
四半期包括利益	89,223	74,474
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,362	71,315
少数株主に係る四半期包括利益	2,861	3,159

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2012年1月1日 至 2012年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			セラミックス ・その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	138,760	77,804	62,039	6,771	285,376	-	285,376
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	481	238	759	18,233	19,713	(19,713)	-
計	139,242	78,043	62,799	25,005	305,090	(19,713)	285,376
セグメント利益 (営業利益)	760	17,956	5,300	276	24,293	(111)	24,182

注 1 「セラミックス・その他」の区分は、報告セグメントに含まれないその他の事業セグメントの合算であり、従前の「その他」の区分名称を変更したものであります。

2 セグメント利益の調整額△111百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2013年1月1日 至 2013年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			セラミックス ・その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス	電子	化学品				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	152,184	81,891	65,892	6,404	306,372	-	306,372
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,173	3,034	760	8,911	13,881	(13,881)	-
計	153,357	84,925	66,653	15,316	320,253	(13,881)	306,372
セグメント利益又は損失 (営業利益)	(6,240)	19,330	3,431	(267)	16,254	(486)	15,768

注 1 「セラミックス・その他」の区分は、報告セグメントに含まれないその他の事業セグメントの合算であり、従前の「その他」の区分名称を変更したものであります。

2 セグメント利益の調整額△486百万円には、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等が含まれております。